

令和3年度 第2回海老名市下水道運営審議会会議結果

開催日時等	令和3年11月2日（火）10:00～11:40 市役所3階 政策審議室																												
出席委員 ◎会長 ○副会長	◎古河 伸夫 小島 有加里 ○福田 修 志村 小夜子 大谷 澄子 澤地 房枝 中谷 尚利 清水 賢治 委員10名中8名出席																												
事務局	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">理事（都市・建設担当）</td> <td style="width: 50%;">丸茂 悠</td> </tr> <tr> <td>まちづくり部長</td> <td>谷澤 康徳</td> </tr> <tr> <td>まちづくり部次長（都市担当）</td> <td>清田 聡</td> </tr> <tr> <td>まちづくり部次長（建設担当）</td> <td>関口 好文</td> </tr> <tr> <td>下水道課長</td> <td>川崎 宗一</td> </tr> <tr> <td>下水道課管路施設担当課長</td> <td>湯山 真一</td> </tr> <tr> <td>下水道課主幹兼業務係長</td> <td>澤田 真理</td> </tr> <tr> <td>経営係長</td> <td>小菅 舞夕子</td> </tr> <tr> <td>管路施設係長</td> <td>中村 雅範</td> </tr> <tr> <td>業務係副主幹</td> <td>鉦落 誠</td> </tr> <tr> <td>管路施設係主査</td> <td>羽室 勝宣</td> </tr> <tr> <td>経営係主任主事</td> <td>大乘 文哉</td> </tr> <tr> <td>経営係主事</td> <td>白取 美優</td> </tr> </table>			理事（都市・建設担当）	丸茂 悠	まちづくり部長	谷澤 康徳	まちづくり部次長（都市担当）	清田 聡	まちづくり部次長（建設担当）	関口 好文	下水道課長	川崎 宗一	下水道課管路施設担当課長	湯山 真一	下水道課主幹兼業務係長	澤田 真理	経営係長	小菅 舞夕子	管路施設係長	中村 雅範	業務係副主幹	鉦落 誠	管路施設係主査	羽室 勝宣	経営係主任主事	大乘 文哉	経営係主事	白取 美優
理事（都市・建設担当）	丸茂 悠																												
まちづくり部長	谷澤 康徳																												
まちづくり部次長（都市担当）	清田 聡																												
まちづくり部次長（建設担当）	関口 好文																												
下水道課長	川崎 宗一																												
下水道課管路施設担当課長	湯山 真一																												
下水道課主幹兼業務係長	澤田 真理																												
経営係長	小菅 舞夕子																												
管路施設係長	中村 雅範																												
業務係副主幹	鉦落 誠																												
管路施設係主査	羽室 勝宣																												
経営係主任主事	大乘 文哉																												
経営係主事	白取 美優																												
公開の可否	公開	傍聴者数	0名																										
議事結果	<p>【議題】</p> <p>○海老名市下水道総合計画（改定版）骨子（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回審議会において各委員からの意見を踏まえた海老名市下水道総合計画（改定版）骨子（案）について事務局より説明を行いました。 ・骨子（案）に対する意見書の後日提出を依頼しました。 <p>【後日提出の意見内容】</p> <p>○議題に対し、別紙のとおり意見がありました。</p>																												

海老名市下水道総合計画（改定版）骨子（案）について

- 先ずは、下水道行政が、如何に生活密着型の施策であるか、改めて総合計画（改定版）の骨子で理解することができました。
中でも第3章下水道の課題で現計画の課題（未達成）については、なぜ達成できなかった？次には、どのような体制で達成するのか注目していきたいと思いました。
また、新たな課題も提起されている中で「発生する問題」など、予断を許さぬ状況ではと危惧しています。そして、新たな課題の中で「下水道施設の老朽化」が示されました。基幹施設である為、市民生活に影響を及ぼすことのないよう対処していくこととなりますが、多額の改修費用も想定される為、緊急度合など勘案しながら計画的に対処するようになると思っています。
そして、このような実態・状況等を広く市民の方々にお示しして、ご理解頂くよう「下水道通信」（簡単なもの）を作成して全戸配布するようなことも、これからの下水道事業への応援と理解度を増す施策と考えます。
- 骨子（案）について、特に問題ありません。ご担当者の方々の丁寧な説明でよく理解できました。
- 変化する自然や社会状況を見据えながらこの計画が計画だけに終わらぬ様、着実に実施して行ってください。
また、新聞記事で「人口が減っても水道が命綱であるのは変わらない。かつては「日本人は水と安全はタダだと思っている」と言われた。しかし今は水を使い続けるために、費用を捻り出すことが急務となっている。」とあるように安全な水を使い続ける為に必要な費用について常に市民に伝え続けていくことが必要だと思えます。
- 近年の異常気象による災害防止には、先手の修繕や対策を持って、大事故や大損失を防がなければなりません。これらは、限られた予算での実行は大変だとは思いますが慎重に対応していただきたいと思っております。
- これからの10年間は、経済的な事も含めて今までの10年とは違うと思えます。現在ある管路に対する維持管理を中心に考え、ストックマネジメント計画を立て、実行する事が大切だと思えます。
- 新しい管路の設置については、先送りする事も視野にいれてもいいのでは・・・。南部のほうなどは、本当に下水道が必要なのかな？と感じる時があります。市としては、普及率100%を目指しているのでしょうか。
- 骨子案については問題ありません。
最近の気候変動から水害対策は、最優先課題と思えます。消防署・市役所・警察署等の浸水が想定されますので、雨水管きよの整備、雨水貯留施設の整備を早期に具体化していくことを望みます。その為に浸水した写真等がもう少し多く掲載されるとよろしいかと思えます。